

○第6回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する  
調査 調査項目

1 【満足度(全員)】

満足度

1-1 全体としての生活の満足・不満の程度についてお聞きします。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、現在の生活は何点くらいになると思いますか。

Q1-2~1-6

「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、以下の項目について、現在はそれぞれ何点くらいになると思いますか。

1-2あなたの「健康状態」に関する満足度

1-3あなたの「仕事」に関する満足度

(※)仕事には、収入を伴う仕事だけでなく、学業・家事・介護・育児・買い物などの義務的な時間を含む。

1-4あなたの「子育てのしやすさ」に関する満足度

1-5あなたの「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」に関する満足度

1-6あなたの「生活の楽しさ・面白さ」に関する満足度

<全員>

2 事前Q

2-1 居住地

①お住まいの都道府県(47都道府県プルダウン)

②お住まいの市区町村名( )

2-2 あなたが同居している方を全て選んでください。あなたとの関係(続柄)でお答えください。

1. 誰とも同居していない(一人暮らし)
2. 配偶者
3. 18歳未満の息子・娘
4. 18歳以上の息子・娘
5. 父母(配偶者の父母を含む)
6. 祖父母(配偶者の祖父母含む)
7. 孫

8. 兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)
9. その他(具体的に)

<前問で2(配偶者)と回答した方を除く>

2-3 あなたの婚姻状況をお答えください。

1. 未婚
2. 既婚
3. 離別
4. 死別

<息子・娘が18歳未満(Q2-2で「3」と回答)>

2-4 あなたの子供(令和4年4月1日時点で18歳未満の方)について教えてください。

①18歳未満の子供の人数

②子供の生年月を一人目から(年齢の高い順に)回答してください。

③子供の学校等を回答してください

生年月	学校等	
プルダウン選択②		
	プルダウン③選択肢 A (0~6歳相当) 1. 未就園 2. 保育園・幼稚園等	プルダウン③選択肢 C(高1~高3相当) 1 公立高校(高専) 2 私立高校(高専) 3 専門学校 4 働いている 5 その他
	プルダウン③選択肢 B (小1~中3) 1 公立 2 私立	

※1 ②の入力欄は、①で入れた人数のみ最初から表示

※2 学校の区分は、3、小学校~5. 高校(高専)を選択した場合のみ表示

プルダウン選択肢②
1 2004年4月~2005年3月(高3相当)
2 2005年4月~2006年3月(高2相当)
3 2006年4月~2007年3月(高1相当)
4 2007年4月~2008年3月(中3)
5 2008年4月~2009年3月(中2)
6 2009年4月~2010年3月(中1)
7 2010年4月~2011年3月(小6)
8 2011年4月~2012年3月(小5)
9 2012年4月~2013年3月(小4)
10 2013年4月~2014年3月(小3)
11 2014年4月~2015年3月(小2)
12 2015年4月~2016年3月(小1)
13 2016年4月~2017年3月(6歳相当)
14 2017年4月~2018年3月(5歳相当)
15 2018年4月~2019年3月(4歳相当)
16 2019年4月~2020年3月(3歳相当)
17 2020年4月~2021年3月(2歳相当)
18 2021年4月~2022年3月(1歳相当)
19 2022年4月以降(0歳)

<全員>

2-5 あなたの職業・学業について、主なもの1つを回答してください。

※非正規雇用の方は、勤め先での呼称により選択肢を回答してください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 契約社員・嘱託社員・派遣社員等の非正規雇用
3. パート・アルバイト等の非正規雇用
4. 会社などの役員
5. 自営業(手伝いを含む)
6. 内職・在宅ワーク
7. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)
8. 無職(求職中)
9. 無職(求職していない)

<以下、就業者(前問で「1」～「6」と回答した方)>

3 【働き方(就業者への質問)】

3-1 働き方に関する意識の変化についてお聞きします。新型コロナウイルス感染症(以下、感染症という)拡大前(2019年12月)に比べて、ご自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。

1. 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化
2. 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化
3. 変化はない
4. わからない

3-2 感染症拡大前(2019年12月)に比べて、働くうえで重視するようになったものについて、該当するもの全てに回答してください。

1. 就業形態(正規(正社員・正職員)、非正規(派遣職員、嘱託職員、パート・アルバイトなど)
2. 給料の額(ボーナスを含む)
3. 福利厚生が充実していること
4. 職場の人間関係・雰囲気
5. 労働時間が適切であること
6. テレワークやフレックスタイムなど柔軟な働き方ができること
7. 副業・兼業ができること
8. 仕事にやりがいがあること

9. 昇進・昇級、仕事に対する評価に納得できること
10. キャリアパスを描ける、キャリアビジョンを実現できること
11. その他(具体的に)
12. 重視するようになったものは特にない

3-3感染症拡大前(2019年12月)に比べて、職業選択やその希望は変化しましたか。該当するもの全てに回答してください。

1. 変化していない
2. まだ具体的ではないが将来の仕事・収入について考えるようになった
3. 希望する就業先や異動先が変化した
4. 副業を持った
5. 新たに副業を検討しはじめた
6. 転職した
7. 新たに転職を検討しはじめた
8. その他(具体的に)
9. わからない

<前問で1以外を回答した方>

3-4職業選択やその希望が変化した理由は何ですか。重要なものから順に回答してください。

(最大3つ)

1. 感染症の影響下において収入が減少したから
2. 感染症の影響下において仕事のやりがいを感じづらくなったから
3. 感染症の影響下において仕事が多忙を極めたから
4. 感染症の影響下において仕事や勤務先企業の将来性に不安を感じたから
5. 感染症を契機に、人口過密な地域を離れたいと考えたから
6. 感染症を契機に、「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識が変化したから
7. 感染症を契機に、新たなチャレンジを試みたいと考えたから
8. その他、感染症に関係する理由
9. 感染症と関係無い理由
10. 特にない

<前々問で「6」を回答した方>

3-5 転職をした企業を選択した理由としてあてはまるものを全て回答してください。

1. 大企業であること
2. 中小企業であること
3. 今後の成長が見込まれる企業であること
4. 堅実な経営をしている企業であること
5. 採用時の給料(新規採用の場合は初任給)が高いこと
6. 女性や若手が幹部として登用されていること
7. SDGs(環境、人権、社会貢献等)に力を入れていること
8. テレワークがしやすい(テレワークに積極的である)こと
9. 育児休業が取得しやすいこと
10. 自分が成長できそうなこと
11. 社会的な評価、評判が良いこと
12. その他
13. 該当するものは特になし
14. 転職先は企業ではない

#### テレワーク等

3-6 あなたの現在の働き方として該当するもの全てに回答してください。

※「1」～「4」は、いずれか1つのみを回答可とする

1. テレワーク(ほぼ100%)
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 週4日、週3日などの勤務日制限
6. 時差出勤やフレックスタイムによる勤務
7. 特別休暇取得などによる勤務時間縮減
8. 休業(自宅待機等を含む)
9. その他(具体的に)
10. いずれも実施していない

3-7 感染症拡大後、あなたの職場において、テレワークの利用拡大が進むために必要と思うものについて、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. 社内の打合せや意思決定の仕方の改善
3. 顧客や取引先との打合せや交渉の仕方の改善
4. 社内外の押印文化の見直し
5. 書類のやりとりを電子化、ペーパーレス化
6. 現金を重視した手続き、習慣の見直し
7. 社内システムへのアクセス改善
8. 仕事の進捗状況の確認や共有の仕方の改善
9. その他(具体的に)
10. 特にない
11. わからない

<テレワークを実施した方(前々問で「1」~「4」のいずれかを回答)>

3-8 あなたの職場において、テレワークで不便な点と考えられるものに関し、重要なものから順に回答してください。(最大3つ)

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. テレビ通話の質の限界(タイムラグ、音声や映像の乱れ等)
3. 取引先等とのやりとりが困難(機器、環境の違い等)
4. 機微な情報を扱い難いなどのセキュリティ面の不安
5. 通信費の自己負担が発生
6. 社内での気軽な相談・報告が困難
7. 画面を通じた情報のみによるコミュニケーション不足やストレス
8. 大勢で一堂に会することができない
9. 在宅では仕事に集中することが難しい住環境
10. 同居する家族への配慮が必要
11. 仕事と生活の境界が曖昧になることによる働き過ぎ
12. その他(具体的に)
13. 特にない

3-9 今後、どの程度の頻度でテレワークを利用したいですか。

1. 完全にテレワーク
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 職場はテレワーク利用が可能だが、利用したくない
6. テレワーク利用は困難(業務内容が即さない)
7. わからない

## 副業

3-10 副業(本業以外の仕事で収入を得ること)の実施状況について、該当するもの全てに回答してください。

1. 副業に関心が無く、行っていない
2. 副業に関心があるが、行っていない
3. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に専門知識や経験を生かす目的等)
4. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に収入目的等)
5. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に専門知識や経験を生かす目的等)
6. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に収入目的等)
7. 本業とは別に、NPO 活動・地域活動などの社会貢献活動を実施している
8. その他(具体的に)

<前問で「2」と回答した人>

3-11 副業に向けた行動について、最もあてはまるものを回答してください。

1. 副業に向けて具体的に準備している(事業企画・取引先・勤務先候補との調整等)
2. 副業に関する情報収集をしている
3. 特に活動していない(関連ニュースを見る程度)

<前々問で「2」を回答した人>

3-12 副業に関心があるが行っていない理由として、該当するもの全てに回答してください。

1. 本業の勤務先で副業が許されていないため
2. 本業の勤務先での人事評価等に影響しないか不安



3. 本業と副業を両立できるか不安
4. 適当な副業が見つからない
5. どのような副業に取り組めばよいかまだ検討中
6. その他(具体的に)
7. わからない

<全ての就業者の方>

3-13 (本業の)勤務先の制度で、副業は許容されていますか。

1. 許容されている
2. 例外的に許容される場合がある
3. 禁止されている
4. 許容・禁止が曖昧である
5. 制度を知らない・わからない
6. その他(具体的に)

<前問で「2」か「3」と回答した方>

3-14 (本業の)勤務先の制度で、副業を許容しない理由は何だと考えますか。(最大3つ)

1. 副業をどの程度許容して良いか判断がつかないから
2. 生産性や売上が落ちると考えているから
3. 人材流出の懸念があるから
4. 労務管理が困難だから(通勤手当、労災の適用範囲等)
5. 利益相反や情報漏洩を懸念しているから
6. その他(具体的に)
7. わからない

**起業**

3-15 働き方の選択肢として起業への注目が高まっていますが、起業への関心について当てはまるものをすべてお答えください。

1. 起業に関心がある
2. 自分で起業してみたい
3. ユニコーン企業(設立間もないが企業価値の高い企業のこと。評価額が 10 億ドルを超え

る設立 10 年以内の未上場のベンチャー企業。)を立ち上げたい

4. 自分好みの会社をつくりたい
5. 社会的起業(社会的課題を解決することを目的として起業)をしてみたい
6. 周りのサポートがあれば起業してみたい
7. 起業に関心はない

3-16 あなたの周りで、起業が増えていると感じますか。

1. よく聞くようになった
2. 前よりも聞くようになった
3. 変わらない
4. 前よりも聞かない
5. 全く聞かない

3-17 リカレント教育(仕事に活用するための学び直し)についてお聞きします。リカレント教育の現在の実施状況について、最もあてはまるものを回答してください。

1. 大学等(大学院・通信制大学、専門学校)に入学して学び直しをしている
2. 定期的な受講(各種スクールや定期的なオンライン講座など)により学び直しをしている
3. 単発のセミナー・研修等に参加して学び直しをしている
4. 独学(書籍や参考書等)で学び直しをしている
5. 何もしていない

<前問で5以外を回答した方>

3-18 リカレント教育(仕事に活用するための学び直し)の内容について、あてはまるものを全て回答してください。

1. 専門的な資格の取得
2. 経営・ビジネスに必要な知識や能力の向上
3. 英語などの語学力の向上
4. マネジメント力の向上
5. 学位の取得
6. プログラミングなどの IT 関連スキルの取得
7. リベラルアーツ(一般教養)の学習

## 8. その他

3-19 あなたは、企業が社員のスキルアップや学び直しを支援することについて、どう思いますか。もっともあてはまるものを回答してください。

1. 会社が支援するのであれば、積極的に受けたい
2. 実務と直結した内容や自分の興味がある内容ならば受けたい
3. 業務が多忙なのであまり受けたくはない
4. あまり関心はない

### **勤務状況等**

3-20 あなたの勤務状況についてお伺いします。感染症拡大前(2019年12月)と比べて、労働時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

3-21 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、仕事の生産性はどのように変化したと感じましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

3-22 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、1週間の中で通勤にかかる時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

#### 4【結婚・子育て(子育て世代等)】

<以下、子育て世帯の方>

4-1 家族に関することをお伺いします。感染症拡大前(2019年12月)と比べて、配偶者(あなたの夫又は妻)の働き方に変化はありましたか。該当するもの全てに回答して下さい。

1. テレワークの利用・利用増加
2. 労働時間の柔軟化(時差出勤、フレックスタイム等)
3. 労働時間の減少
4. 労働時間の増加
5. その他の変化(具体的に)
6. 変化は無い

4-2 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、家族と過ごす時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)

6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

4-3 現在の家族と過ごす時間を今後も保ちたいと思いますか。

1. 保ちたい
2. どちらかというと保ちたい
3. どちらかというと保ちたくない
4. 保ちたくない
5. わからない

4-4 今回の感染症の影響下において、家事・育児に関する夫妻間の役割分担に変化がありましたか。

1. 夫の役割が増加
2. 夫の役割がやや増加
3. 妻の役割が増加
4. 妻の役割がやや増加
5. 夫・妻ともに役割が増加
6. 夫・妻ともに役割が減少
7. 変化は無い

4-5 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、家事・育児に費やす時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

＜未婚の方＞

4-6 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、結婚への関心に変化はありましたか。

1. 関心が高くなった
2. 関心がやや高くなった
3. 変わらない
4. 関心がやや低くなった
5. 関心が低くなった

＜未婚の方＞

4-7 あなたが結婚していない理由について、該当するものを全て回答してください。

1. 交際相手がいない
2. 結婚資金が不足しているため
3. 結婚後の資金面(現在の経済力)に不安があるため(収入が低い、雇用が不安定など)
4. 自分は結婚したいが相手に結婚の意思がないため
5. まだ必要性を感じないため(若すぎる、仕事や趣味に打ち込みたいなど)
6. 適当な相手とまだ巡り合っていないため
7. その他
8. 特になし
9. わからない

＜子供がいる方＞

4-8 子供を持つことでご自身の生活全体の満足度はどのように変化していると思いますか。

1. 子供を持つことで、生活全体の満足度が上がっている
2. 子供を持つことで、生活全体の満足度はどちらかといえば上がっている
3. 子供を持つことで、生活全体の満足度は変わらない
4. 子供を持つことで、生活全体の満足度はどちらかといえば下がっている
5. 子供を持つことで、生活全体の満足度が下がっている

<全員>

4-9 あなたを取り巻く社会環境は子供を持つことを歓迎していると思いますか。

1. とてもそう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

<20歳代～30歳代の既婚者の方>

4-10 あなたの家庭で、今後、どのような政府や企業の支援があれば、子供を持ちたいと思うようになりますか。該当するものを全て回答してください。

1. 雇用の安定・賃金の引上げ
2. 妊娠・出産に伴う医療費の補助(不妊治療を含む)
3. 児童手当の増額
4. 幼稚園・保育所などの費用の補助
5. 保育士の増員など保育の質の確保・向上
6. 高等教育費の支援、軽減
7. 子供のいる世帯への住宅費の支援
8. 男性の育児休業の取得促進
9. 育児休業中の所得保障の充実
10. 育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組
11. 出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実
12. ご自身もしくはパートナーの勤務先の長時間勤務の削減など働き方の見直し
13. その他
14. 特にない

<20歳代～30歳代の既婚者の方>

4-11 あなたの家庭で今後、子供が産まれた際に、男性(夫)は育児休業を取得すると思いますか。(あなたが男性なら自分自身の育休、あなたが女性なら配偶者の育休について回答して下さい。)

1. 育休は取得しない

2. 1週間未満の育休を取得
3. 1週間以上～2週間未満の育休を取得
4. 2週間以上～1ヵ月未満の育休を取得
5. 1ヵ月以上の育休を取得
6. 分からない

<前問で5(1ヵ月以上の育休を取得)と回答した方を除く>

4-12 1ヵ月以上の育児休暇を取得しない理由について、あてはまるもの全てに回答してください。

1. 職場が、男性の育休取得を認めない雰囲気であるため
2. 職場に迷惑をかけたくないため
3. 周囲からの評価に影響がでるため(昇進等への影響)
4. 収入が減少してしまうため
5. 仕事にブランクができ、自分の能力が低下するため
6. 妻が育児することができ、男性が育児休暇を取得する必要は無いため
7. 育児や家事をするのは好きでないため
8. その他
9. わからない

<就業者の方>

4-13 あなたの職場の同僚(上司・部下含む)の男性について伺います。子供ができた同僚男性は原則、1ヵ月以上の育児休業を取得することとなった場合、抵抗感がありますか。

1. 抵抗感が大きい
2. 抵抗感がある
3. 抵抗感はない
4. 職場に同僚男性はいない
5. わからない

## 5【地方移住】

<東京圏在住者>



5-1 現在の地方移住への関心の程度について回答して下さい。

1. 強い関心がある
2. 関心がある
3. やや関心がある
4. あまり関心がない
5. 全く関心がない

<全員>

5-2 地方移住(都市圏から地方圏(大都市よりも規模の小さい都市圏を含む)への転居)についてお聞きします。この半年の間で、地方移住に向けて具体的な行動をしましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 具体的に行動していない
2. 移住先を決定し、具体的な引っ越し予定がある
3. 移住先での就職情報を調べた
4. 移住先での住宅情報を調べた
5. 移住先の学校情報を調べた
6. 移住のための相談窓口を利用した
7. 移住に向けて家族と具体的な相談をした
8. 引越資金集めを始めた
9. その他(具体的に)
10. 既に地方移住した

<前々問で地方移住に関心がある(1、2、3)又は前問で地方移住した(10)と回答した方>

5-3 地方移住へ(やや)関心がある/移住した理由として、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークによって地方でも同様に働けると感じたため
2. 買物・教育・医療等がオンラインによって同様にできると感じたため
3. 現住地の感染症リスクが気になるため
4. 感染症を契機に地元に戻りたいと感じたため
5. 人口密度が低く自然豊かな環境に魅力を感じたため
6. ライフスタイルを都市部での仕事重視から、地方での生活重視に変えたいため

7. 感染症を契機に将来のライフプランを考え直したため
8. テレビやネット等で地方移住に関する情報を見て興味を持ったため
9. 感染症と関係ない理由
10. その他
11. 特にない
12. わからない

<Q5-1で地方移住に関心がある(1、2、3)とした方>

※前々問で地方移住した(10)と回答した方は除く

5-4 地方移住や郊外への移住に関心はあるが実行していない理由として、地方移住にどのような点で懸念をもっていますか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 仕事や収入
2. 子育て・教育環境
3. 医療・福祉施設
4. 買物や公共交通等の利便性
5. 人間関係や地域コミュニティ
6. 移住資金の不足
7. まだ具体的に検討していない
8. その他(具体的に)
9. 特にない

## 6 【学生(大学生・高校生等本人)の方】

<学生の方>

6-1 学生の方にお聞きします。コロナ禍で学生生活はどのような不利益を受けましたか。特に不満に感じたことを最大3つ回答してください

1. 休校やオンライン授業により学習機会が減少したこと(図書館の閉鎖など)
2. 休校やオンライン授業により社会的つながり(友人との交友等)が減少したこと
3. イベント・行事への参加機会が失われたあるいは制約のある参加となったこと
4. サークル活動や部活などの活動に制限がかかったこと
5. 就職活動や企業の採用活動に負の影響が生じていること

6. アルバイトや親からの仕送りなどの収入減に繋がったこと
7. 放課後や休暇期間に自由に遊びや旅行に行けなかったこと
8. 自身の現在及び将来に対する不安が増加したこと
9. その他
10. 特にない

6-2 今後、どのような頻度で学校のオンライン授業を受講してみたいと思いますか。

1. オンラインで受講できるものは、できる限り全てオンライン授業を受講したい
2. オンライン授業を中心(50%以上)、対面授業併用
3. 対面授業中心(50%以上)、オンライン授業併用
4. 対面授業を受講できるものは、できる限り全て対面授業を受講したい
5. わからない

<以下、全員>

## 7【その他】

7-1 感染症の影響下において、新たに挑戦したり、取り組んだりしたことはありますか。該当するもの全て回答してください。

1. 特に挑戦したり、取り組んだりしたことはない
2. ビジネス(起業、副業、新商品開発等)に新たに挑戦した
3. ビジネス関係の勉強(資格取得、スキルアップ、転職情報収集等)に新たに取り組んだ
4. 教育・学習(新しい分野、技術、語学等)に新たに取り組んだ
5. オンラインでの発信(YouTube等)、オンラインでの交流(Zoom等)に新たに挑戦した
6. 本格的な趣味(芸術、料理等)に新たに挑戦した
7. 今までやれなかった日常生活に関わること(家の修繕等)に新たに取り組んだ
8. わからない

7-2 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、消費の在り方で変化したものとして該当するものを全て回答して下さい。

1. オンラインでの購入機会を増やした
2. 店舗でのキャッシュレス決済の利用割合を増やした

3. 店舗でセルフレジの利用割合を高めた
4. 店舗でのまとめ買いを増やした
5. 地産地消や国産品の購入を増やした
6. エシカル消費(倫理的消費)を増やした

※エシカル消費とは、フェアトレード商品(環境に優しく、生産者の暮らしの改善や自立を実現するために、生産者と購入者の間で適正な価格で売買される商品)を購入すること、エコバッグやマイボトルを持参すること、環境に配慮した企業の商品やサービスを選ぶことなど、「地球環境、人、社会に優しいモノを購入、消費する行動」を指し、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うことです。

7. 日持ちする食材や加工品等の購入を増やした(ローリングストックが定着した)

※ローリングストックとは、普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法。災害時にも日常生活に近い食生活を送ることが可能。

8. 一人で外食、一人で外出などのおひとりさま消費を増やした。
9. その他
10. 特に変化はない

7-3 例年(感染症拡大前)と比較して、昨年の年末から今年の年始にかけての外出(旅行やレジャー、ショッピングなどの実施)状況について、あてはまるものを回答してください。

1. 例年(感染症拡大前)よりも活発に外出した
2. 例年(感染症拡大前)並み
3. 例年(感染症拡大前)よりも少ない
4. 例年(感染症拡大前)よりも非常に少ない

7-4 昨年の年末から今年の年始にかけての外出(旅行やレジャー、ショッピングなどの実施)状況についてお聞きします。どの程度遠方に外出をしましたか、帰省を除いた外出について、あてはまるものを回答してください。

1. 年末年始は、(帰省を除いては)外出していない
2. 海外
3. 飛行機や新幹線で行くような遠方(国内)

4. 電車や車で1時間以上3時間程度の中距離
5. 電車や車で1時間以内の近距離

7-5 今年のGW明けに新型コロナの感染症法上の位置づけについて、季節性インフルエンザ等と同じ5類への移行が予定されています\*が、感染症拡大を契機に広まった以下の項目に示す取組について、5類移行後にこの3年と比較してどの程度実施したいと思うか、該当するものを回答してください。

※新型コロナの感染症法上の位置づけの変更に伴い、これまで講じてきた各種の政策・措置（医療提供体制、水際措置、マスク着用の取扱い等）について、見直しが行われる予定です。

[選択肢(共通)]

1. GW後は減らしたい、控えたい
2. GW後も引き続き継続したい
3. GW後は増やしたい、新たに取り入れたい

[項目]

1. マスクの着用
2. 手洗いやアルコール消毒等の衛生管理
3. 飲食店のテイクアウトやデリバリーサービスの利用
4. 時差出勤
5. オンライン会議(打合せ等)
6. オンライン飲み会
7. オンラインでのイベント(音楽・文化、スポーツ観戦等)参加
8. オンラインでの医療相談や診察
9. オンラインショッピング

7-6 感染症拡大を契機に控えた行動等について、5類移行後に感染症拡大前(2019年12月)と比較してどの程度実施したいと思うか、該当するものを回答してください。

[選択肢(共通)]

1. 感染症拡大前よりも多く実施したい

2. 感染症拡大前と同程度で実施したい
3. 感染症拡大前よりも頻度を減らしたい

[項目]

1. 外食(飲酒を伴わない)
2. 外食(飲酒を伴う)〈20歳以上の方にのみ表示〉
2. 繁華街(モール等)でのショッピング
3. 帰省
4. 宿泊旅行(国内)
5. 日帰り旅行・レジャー(国内)
6. 海外旅行
7. オンラインを除く声援等の大声を伴わないイベントへの参加
8. オンラインを除く声援等の大声を伴うイベントへの参加
9. スポーツ・運動

7-7 感染症拡大を契機に広まった「マスク着用」※について、今年(2023年)の3月13日以降はどのように着用すると思いますか。該当するものを回答してください。

※マスクの着用については、今年(2023年)の3月13日より、行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねられることが基本となる予定です。

1. 場面を問わず着用する
2. 場面によって着用する
3. 場面を問わず着用しない

〈前問で2(場面によって着用する)と回答した方〉

7-8 感染症拡大を契機に広まった「マスク着用」について、今年(2023年)の3月13日はどのような場面において、着用すると思いますか。該当するもの全てに回答してください。

1. 人との距離を保てる屋外
2. 人との距離を保てず、会話する屋外
3. 公共交通機関
4. スーパー等の不特定多数の人が集まる屋内

5. 職場や学校等の特定の人を利用する屋内
6. その他(具体的に)

<以下、全員>

7-9 5類移行後に、感染者数が増加した場合に感染症対策を強化するかどうかについてどのように考えていますか、該当するものを回答してください。

1. 自主的に判断し、適宜対策を強化する
2. 政府や自治体の呼びかけがあれば対策を強化する
3. 周囲の人の対策状況に合わせる
4. 対策を強化しない
5. わからない

7-10 昨年(2022年)と比較して、今年のGWの外出(旅行やレジャー、ショッピングなどの実施)予定について、あてはまるものを回答してください。

1. 昨年よりも活発に外出する予定
2. 昨年並みの予定
3. 昨年よりも少ない予定

7-11 例年(感染症拡大前)と比較して、今年(2023年)のGWの外出(旅行やレジャー、ショッピングなどの実施)予定について、あてはまるものを回答してください。

1. 例年(感染症拡大前)よりも活発に外出する予定
2. 例年(感染症拡大前)並みの予定
3. 例年(感染症拡大前)よりも少ない予定

7-12 新型コロナのワクチンについて、5類移行後も必要な接種については、引き続き自己負担なく受けられる予定ですが、5類移行後も接種すると思うか、あてはまるものを回答してください。

1. これまでも接種しており、5類移行後も感染症の拡大状況に関わらず、引き続き接種すると思う
2. これまでも接種しており、5類移行後は感染症の拡大状況により、接種すると思う
3. これまでは接種しているが、5類移行後は感染症の拡大状況に関わらず、接種しないと思

う

4. これまでも接種しておらず、5類移行後も接種しないと思う
5. 分からない

7-13 感染症拡大を契機として、人々が暮らしや生活を意識する機会も増え、価値観が変化していく中で、①SDGsや②Well-being(ウェルビーイング)への社会的関心も高まっていますが、それぞれについて知っていましたか、知っている場合には関心の程度についてあてはまるものを回答してください。

① SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指し、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

②Well-being(ウェルビーイング)とは

身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指し、幸福・豊かさ・健康などと訳されることの多い概念です。GDPなどの経済指標だけではなく、Well-beingの観点から経済社会を多面的に把握することが重要であると、国内外で注目を浴びつつあります。

1. 知らなかった
2. 非常に関心がある
3. 関心がある
4. 関心がない

7-14 感染症拡大を契機として、暮らしのデジタル化は進んだと思いますか、それぞれの進捗について、あてはまるものを回答してください。

[選択肢]

1. 進んでいる
2. どちらかといえば進んでいる
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば進んでいない



## 5. 進んでいない

### [項目]

1. 働き方(テレワークやペーパーレス化など)
2. 消費(キャッシュレス決済、オンラインショッピングなど)
3. 教育(オンライン端末での学習、連絡手段のオンライン化など)
4. 行政(オンライン申請など)
5. コミュニケーション(ビデオ通話など)
6. 生活(IOT 家電やスマートスピーカーなど)
7. 医療(オンライン診療など)

7-15 感染症拡大前(2019年12月)に比べて不安が増していることがありますか。ある場合はどのような不安か、あてはまるもの全てに回答してください。

1. 不安はあるが感染症拡大前から増してはいない
2. 不安は感じていない
3. 生活の維持、収入に関する不安
4. 仕事に関する不安
5. 結婚、家庭に関する不安
6. 健康に関する不安
7. 子どもの育児、教育に関する不安
8. 親などの生活の維持、支援に関する不安
9. 人間関係、社会との交流に関する不安
10. 地球環境、地球規模の課題に関する不安
11. 将来に対する全般的な不安
12. 地政学や国際情勢に関する不安
13. 食料やエネルギーなどの資源に関する不安
14. わからない

## 8【属性情報等】

<配偶者のいる方>

8-1 配偶者の職業についてお答えください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)
3. 会社などの役員
4. 自営業(手伝いを含む)
5. 内職・在宅ワーク
6. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)
7. 学生ではなく就業していない(求職中)
8. 学生ではなく就業していない(求職していない)

<以下、学生の方>

8-2 あなたの学業についてお答えください。

1. 高校生( 年生)
2. 高等専門学校(高専)生( 年生)
3. 専門学校生
4. 短大生( 年生)
5. 大学生( 年生)
6. 大学院生( 年生)
7. その他(具体的に)

8-3 通学している学校の所在地はどこですか。

所在地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

<学生を除く全員>

8-4 あなたの最終学歴についてお答えください。

1. 中学卒
2. 高等学校卒
3. 専門学校卒
4. 短大・高専卒
5. 大学卒
6. 大学院修了

<以下、就業者の方>

8-5 あなたの勤務先の企業等の業種について、最もあてはまるものお答えください。

1. 農林漁業
2. 建設業

3. 製造業
4. 卸売業
5. 小売業
6. 金融・保険・不動産業
7. 運輸業
8. 情報通信業
9. 電気・ガス・水道業
10. 公務員
11. 教育、学習支援業
12. 医療、福祉
13. 保育関係
14. その他のサービス業(対人サービス)
15. その他のサービス業(対事業所サービス)
16. わからない・その他

8-6 あなた自身の仕事(職種)について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 管理職(役員含む)
2. 営業
3. 経理
4. 人事・総務
5. その他の事務職
6. 医療・福祉・介護職
7. 生産工程(製造、修理、検査等)
8. IT専門職
9. 建設・機械技術職
10. その他の技術職・専門職(法務・デザイン等)
11. 店舗での販売・接客等
12. その他のサービス職
13. わからない・その他

8-7 勤務地はどこですか。

勤務地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

8-8 現時点の通勤時間(片道)を回答してください。

プルダウン. 通勤不要 or 10分単位で選択(最大は「3時間以上」)

8-9 勤務先の企業規模(従業員数)について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 1人(個人事業主)
2. 2~29人
3. 30~299人
4. 300~999人
5. 1,000人以上

<以下、全員>

8-10 あなたの世帯は何人ですか。あなたご自身を含めてお答えください。

( )人

8-11 あなたは、SNS(Facebook、Twitter、LINE など)を使用していますか。

1. 毎日使用している
2. 時々使用している
3. たまに使用している
4. 使用していない

8-12 あなたの世帯全体の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 400万円未満
5. 400万円以上 500万円未満
6. 500万円以上 600万円未満
7. 600万円以上 700万円未満
8. 700万円以上 800万円未満
9. 800万円以上 900万円未満
10. 900万円以上 1000万円未満
11. 1000万円以上 2000万円未満
12. 2000万円以上 5000万円未満
13. 5000万円以上 1億円未満
14. 1億円以上 3億円未満
15. 3億円以上

8-13 あなた自身の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100万円未満

2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 400万円未満
5. 400万円以上 500万円未満
6. 500万円以上 600万円未満
7. 600万円以上 700万円未満
8. 700万円以上 800万円未満
9. 800万円以上 900万円未満
10. 900万円以上 1000万円未満
11. 1000万円以上 2000万円未満
12. 2000万円以上 5000万円未満
13. 5000万円以上 1億円未満
14. 1億円以上 3億円未満
15. 3億円以上

8-14 あなたの世帯全体の金融資産(預貯金や有価証券等)は、およそどのくらいですか。  
(借金を引く前の額をお答えください)。

1. 100万円未満
2. 100万円以上 300万円未満
3. 300万円以上 500万円未満
4. 500万円以上 700万円未満
5. 700万円以上 1,000万円未満
6. 1,000万円以上 2,000万円未満
7. 2,000万円以上 5,000万円未満
8. 5,000万円以上 1億円未満
9. 1億円以上 3億円未満
10. 3億円以上

8-15 出身地はどこですか。

出身の都道府県(プルダウン: 47 都道府県、海外、わからない)

(※) 出生地、小さな頃に暮らした地域、実家のある地域等から主な都道府県を1つ選択。現住所と同じでも可。